

## 令和6年度 第1回山梨県地域クラブ活動推進連絡会（概要）

1. 日時 : 令和6年7月16日（火）14時00分から16時30分
2. 場所 : 防災新館 302・303会議室
3. 参加者 :

No.	所 属	役 職	氏 名	備考
1	山梨学院大学 スポーツ科学部	学部長	遠藤 俊郎	
2	山梨大学 大学院総合研究部教育学域人間科学系	教授	関口 浩文	
3	県小中学校校長会	中学部長	廣瀬 学	
4	県高等学校校長協会	会長	橘田 浩	
5	県小中学校体育連盟	会長	戸田 徳和	
6	県PTA協議会	会長	清水 好美	
7	県スポーツ推進委員協議会	会長	飯田 忠子	
8	県スポーツ協会 スポーツ振興	課長	辻 昌彦	
9	県スポーツ指導者協議会	会長	渡邊 悟	
10	総合型地域スポーツクラブ協議会(S・C山梨)	理事長	村松 久義	
11	地域スポーツクラブ代表者(V・F甲府)	総合型担当	長田 圭介	
12	県吹奏楽連盟	理事長	仲田 太年	
13	昭和町教育委員会 生涯学習課	生涯スポーツ係長	深川 慶太	
14	県スポーツ振興課	課長	二宮 智浩	
15	県教育庁総務課 教育企画室	室長	岩出 修司	
16	県教育庁義務教育課	課長	小池 孝二	
17	県教育庁高校教育課	課長	渡邊 英裕	
18	県教育庁特別支援教育・児童生徒支援課	課長	玄間 修	
19	県教育庁保健体育課	課長	花輪 孝徳	
20	県教育庁保健体育課	総括コーディネーター	荻野 昭彦	

### 【オブザーバー】

21	甲府市教育委員会	コーディネーター	八代 浩	
22	南アルプス市教育委員会	コーディネーター	鈴木 正一	欠席
23	昭和町教育委員会	コーディネーター	望月 一徳	
24	韮崎市教育委員会	コーディネーター	藤巻 明彦	
25	山梨市教育委員会	コーディネーター	中村 雅彦	欠席
26	甲州市教育委員会	コーディネーター	小宮山 茂樹	欠席
27	都留市教育委員会	コーディネーター	跡部 洋二	

### 【事務局】

28	県スポーツ振興課 主幹	事務局	米山 正仁	
29	県スポーツ振興課・生涯スポーツ担当 主幹	事務局	飯野 泰司	
30	文化振興・文化財課・文化芸術振興担当 課長補佐	事務局	渡辺 忠正	
31	文化振興・文化財課・文化芸術振興担当 主事	事務局	早川 雄貴	
32	県教育庁義務教育課・教育指導担当 指導主事	事務局	雨宮 光平	
33	県教育庁保健体育課・課長補佐	事務局	相川 喜代弘	
34	県教育庁保健体育課・学校体育担当 課長補佐	事務局	平子 順一	
35	県教育庁保健体育課・学校体育担当 指導主事	事務局	渡辺 健太郎	
36	県教育庁保健体育課・学校体育担当 指導主事	事務局	田鹿 欣孝	

## 4. 内容

### (1) 報告

- ① 各市町村の進捗状況について
- ② 第1回市町村担当者会の概要について

- ・本年度の県の取組について説明
- ・県総括コーディネーターによる全市町村への訪問の概要説明
- ・市町村の取組状況の報告
- ※協議会等の設置について
- ※市町村コーディネーターの配置について
- ※地域クラブ活動への移行の取組実施について
- ・第1回市町村担当者会の概要説明
- ※実証事業の実施市町村より情報提供（甲府市・都留市・昭和町）
- ※県人材バンクシステムについて（募集方法に関わって）
- ※各市町村の現状や課題の共有（グループディスカッション）

### (2) 議事

- ① 地域クラブ活動の推進に向けて～人材と財源確保へのアプローチ～

- ・「①各市町村における体制整備の推進・周知」「②地域クラブ活動への移行の取組推進」の2つの方針を柱とし、県から市町村への支援体制強化していく
- ・各市町村は体制整備ロードマップをイメージし、以下の2つを目標案とする
- ※令和7年度末までに県内全市町村でSTEP03まで実行
- ※令和8年度は「全市町村で1つ以上の地域クラブ活動実施」を目指す
- ・上記目標案を達成するためには、以下の①～③がポイントとなる
- ①各市町村コーディネーター（専任者）の配置
- ②人材確保へのアプローチ
- ③財源確保へのアプローチ
- ◎目標案および①～③について、委員の方々の意見聴取をおこなった

## 5. 主な発言

- 昨年度からこの会に出席していて、様々な情報を得られている。このような情報も含め、自分たちの地域がどのようなようになっていくのかを、幅広く周知していくことが重要であることを感じている。周知活動をもっと進めてほしい。
- 指導者について、県内にも多くの有資格者がいる。これまでは「売り物はあったけど店を広がっていなかった」状況だったので、スポカルやまなしという店をひろげ、多くの指導者がマッチング出来るような状況をつくっていくべきでは。
- 情報発信として、SNSの活用をもっと推進させていくべきだと考える。また、目安箱のような、山梨県の地域移行に関わる相談について対応機能もできるとよい。

- 昨年度から参加しているが、これまでに様々なことが議論されている。今回の提案を聞いて、いよいよ進んでいかなければいけないと感じている。
- 現在、山梨県が進めている地域移行の取組は、他県から見ると進んでいないように思えるが、国が示す方針に対して丁寧な対応をしている状況にあり、他県から良い評価を得ているところもある。地域クラブ活動の準備が整ったときに、子どもたちの発表の場である大会について、体制整備をこれからも丁寧におこなっていききたい。
- 市町村の行政役として関わっているが、コーディネーターの存在は確かに大きいところがある。しかし、最終的には行政、学校、地域がみんなで子どもたちのために考えていくことが重要だと考える（全員がコーディネーター）。

### **【R6 第1回推進連絡会を終えて】**

- 9月におこなわれる第2回市町村担当者会で、会で示した目標案を基に本県の具体的な方針を示せるよう進める
- 応援企業登録制度について、具体的な内容等を詰めていき取組を進める
- SNSの活用を具体化するため、県HPやスポカルやまなしての対応等を協議する
- 保健体育課・スポーツ振興課・文化振興文化財課・義務教育課の4課ワーキングを進め。庁内の連携や協働を推進させる